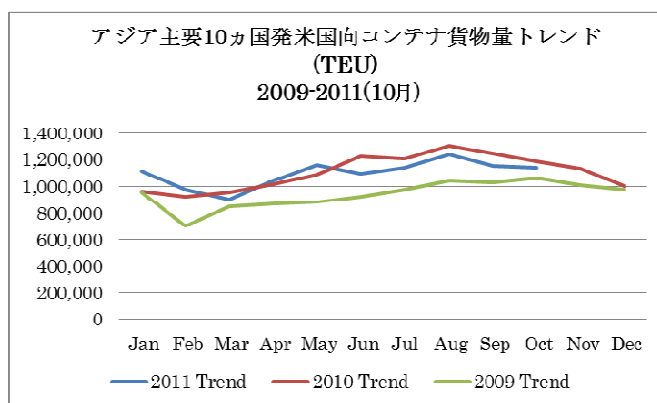


米国通関統計 11 月度<中間>実績速報

アジア発米国向けコンテナ 11 月中間 (3 週間分)では前年を 3.7%上回る  
中国も前年比 6 か月ぶりに+2.5%, 日本も 5 か月ぶりの+5.3%, タイは 7.1%減



Source: Zepol -TradeIQ\*

Zepol(ゼポ) Corporation (本社・米国ミネアポリス [www.zepol.com](http://www.zepol.com)) は、11 月 28 日、米国税関 AMS・B/L データを基に、米国海上輸入 11 月度前半 3 週間分 (21 日まで) の中間実績をまとめました。

それによると、アジア主要 10 カ国発 TEU (B/L・Loading Port・母船積地ベース・実入り・FROB 含)は、前年の同期と比べると 6 か月ぶりに 3.7%のプラスとなりました。アジアの 6 割を占める中国も 6 か月ぶりに 2.5%のプラスで、これは例年の歳末前のトレンドと一致しています。(表 1 及び 11 月 14 日付 10 月実績参照)

このアジア発(+3.7%)に加えて、欧州発も+9.9%と増え、米国コンテナ輸入全体の前年比は+4.8%を示しており歳末商戦の盛り上がりを期待させます。

日本は 5 か月ぶりのプラスで 5.3%増で、前月比も+1.7%と好調でした。タイは前年比、前月比ともそれぞれ -7.1%, -9.9%と洪水被害の大きさをうかがわせます。一方、韓国の自国分は前年比、前月比がそれぞれ+7.1%, +0.9%でしたが(表 2 参照)、トランシップを含む積量では:+18.7%, +12.2%と二桁増となりました。台湾は前年比+4.6%でしたが、香港の前年比は-3.4%と 10 カ国の中で香港だけが年初から 10 月まで連続のマイナスとなっており、11 か月連続が懸念されます。

**表1:アジア 10 カ国発米国向けTEU**  
**(11 月前半 21 日間)**  
**(母船積地ベース・実入り・FROB 含)**

	アジア 10 カ国	TEU	前年比(%)	前月比(%)
1	中国	468,779	2.5	-2.3
2	韓国	88,710	18.7	12.2
3	香港	66,292	-3.4	-2.3
4	台湾	50,460	4.6	-2.3
5	日本	39,337	5.3	1.7
6	シンガポール	32,670	1.3	5.2
7	ベトナム	13,157	28.4	-11.3
8	マレーシア	9,892	-3	5.8
9	タイ	9,218	-7.1	-9.9
10	インド	8,627	-10.3	-9.1
	<b>合計</b>	<b>787,143</b>	<b>3.7</b>	<b>-0.6</b>

Source: Zepol TradeIQ

**表2:アジア 10 カ国発米国向けTEU**  
**(11 月前半 21 日間)**  
**(荷受地ベース・実入り・FROB 含)**

	アジア 10 カ国	TEU	前年比(%)	前月比(%)
1	中国	528,326	4.7	-0.8
2	韓国	45,620	7.1	0.9
3	日本	40,908	7.6	-9.5
4	香港	30,694	-6	-11.8
5	台湾	29,265	3.3	-1
6	ベトナム	27,583	7.1	-1
7	インド	25,035	13.5	1.7
8	インドネシア	22,089	4.6	16.3
9	タイ	18,981	-9.1	-8.5
10	マレーシア	11,679	2	7.2
	<b>合計</b>	<b>780,179</b>	<b>4.4</b>	<b>-0.7</b>

Source: Zepol TradeIQ

表1,表2の違いは、トランシップをふくむ母船積地ベースと自国分を表す荷受け地ベースで、それぞれの国毎の差異がトランシップ分となります。

シンガポールとインドネシアが片方にしか無いのもそれを表わしています。

以上

## \*\* Zepol (ゼポ) トレードデータとは ???

- \* Zepol TradeIQ は、米国税関から公表される AMS (Automated Manifest System) B/L 記載データを Zepol (ゼポ) が独自開発した検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データで、輸入通関後約 1 週間で分析結果をオンラインで把握することができます。
- \* 毎日約 3 万件に及ぶ全米各港からの B/L 情報が 11 月で (2003 年以來)、**1 億件**蓄積されました。ゼポのデータベースにユーザーはどのパソコンからでも簡単にアクセスし、検索・作表・ダウンロードが可能で、IT のパワーをフルに活用した**社外リソース**として各業界・機関から評価されています。
- \* ロジステック関連 IT ソリューション・プロバイダーとして、ゼポは 2011 年発表の “Top 100 Logistics IT Providers” にも選ばれています。  
([www.inboundlogistics.com/lit/top100.shtml](http://www.inboundlogistics.com/lit/top100.shtml))
- \* PC 画面上で B/L #, Shipper, Consignee, Ports, Carrier, Products, Weight, TEU などの個別 B/L 記載項目別のマトリックス分析が簡単に行えます。
- \* 又、Container Type, LCL/FCL, Empty/Loaded, FROB 貨物、などの区分も簡単で目的に応じた分析が出来ます。
- \* 毎月、約 40 日後に発表される米国**商務省貿易統計**も、同じ検索エンジンを使い、コンテナ貨物、航空貨物について、重量・金額別、国別・米国港別に、HS 品目コード毎 10 桁までのマトリックス分析が**商務省発表の同日に可能**となりました。(Zepol TradeView)
- \* 因みに、商務省最新統計の 9 月分は日本時間の明日 (11/10) の発表でしたが、ゼポでは発表と同時に分析結果を分析ツールとしてオンライン提供をしております。  
(HS コード別上位 5 か国の輸出入金額のトレンドは Zepol.com から**無料検索**が可能です)
- \* ゼポのトレードデータ TradeIQ は**政府統計**としての情報価値に加えて、米国情報公開法により入手可能となっている通関時の**個別 B/L 記載データ**は**見過ごせないファクト情報源**です。

ゼポのクライアントは 1,300 社を越えポートオーソリティなども含めた海運・航空輸送関係だけに限らず、化学、食品、機械、電機、法律事務所など幅広い業界にわたっています。

例えば国別、港別の品目別トレンド画面から、すぐに同じPC画面上で荷主、相手港、輸入先、船社/NVOCC、品目・数量などアクチュアル情報への掘り下げを行いアクションに結び付けています。

速報性の高い統計分析ツールであると同時に市場競争の為のツールとして活用されています。



[www.Zepol.com](http://www.Zepol.com)

Over 100,074,460 B/L (Nov.28,2011)

本リリースの分析内容と Zepol (ゼポ) に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan [mnanseki@zepol.jp](mailto:mnanseki@zepol.jp)